

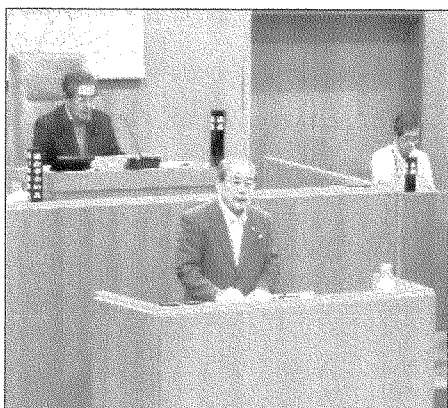
日田彦山線の復旧、7自治体で連携

市民と復旧を考える場を検討

大谷市議は9月議会の一般質問でJR日田彦山線の復旧を今後どう進めるかについて質問。市長は「沿線7自治体の連携や市民全体で復旧について考える場を検討したい」と答えました。

JR九州は日田彦山線の同会場で住民に説明をしま復旧については、今年4月に①鉄道で復旧する場合・6億円の負担を2県3自治体で負担すること②BRTのバス③バスの3案を提示。市は6月29日に大明小学校の体育館で大鶴・夜明の住民を中心に説明会を開催、また8月6日にJR九州が

大谷市議は2つの説明会を踏まえて市は今後どう取り組んでいくのかと質問。市長は「2県3市町村で、負担なしで復旧を求めて行く」と答弁。



議場で質問する大谷市議

大谷市議は「日田彦山線沿線の7自治体との連携は考えはないか」と質問。

市長は「日田彦山線沿線自治体連絡協議会がある。開催をお願いしている。この中で議論したい」と答弁。大谷市議は「大鶴夜明けだけでなくインバウンド、

観光、地域振興など日田市民全体で考えることが必要ではないか」と質問。

市長は「東峰村では住民決起集会が開催された。日田市でも観光や地域振興という点で鉄道の在り方を市民と考えることは必要。何かの機会でも市民の意見がいただければと思うので検討したい」と答弁。

大谷市議は「3自治体の住民連携も必要ではないか」と質問。市長は「色々な意見もあるので慎重に対応しながら、沿線自治体との連携の進展も踏まえ開催していきたいと考えている」と答弁。

大谷市議は復旧会議や自治体都の協議など、その都度協議の内容を市民に知らせることを要望しました。



筑前岩屋駅の看板(東峰村)

国政報告の集い

仁比聡平前参議院議員を迎え住民と懇談

9月14日、党西部地区委員会は大鶴公民館で仁比聡平前参議院議員を迎え、国政報告会を開催しました。地域住民を含め45人が参加しました。仁比氏は参議院選挙の結果に触れ「野党の32選挙区で統一でき10選挙区で勝利したこと



報告する仁比聡平氏

が、自民党を減らし、3分の2を割り込ませた。野党の本気の共闘が安倍政権に代わる新しい政治実現の希望を切り開いた」と報告。またJR日田彦山線の復旧では前田副社長が住民説明会で「鉄道復旧と農地の復旧は別だと思っていた」と述べたことに対して、「知らないはずはない。昨年12月前田副社長(当時専務)に実情を話し早期の復旧を求めていた」と述べ、国交省との交渉でも強く指導するよう求めたことを報告。地元住民から復旧

の目途が立たないから河川改修も進まない。大雨のたびに怖い思いをしている」などの意見がありました。

